

おしえて!
専門監①

今年度の『かけ橋』では、昨年度に引き続き日々の指導や支援のヒントとなる内容について、本校教育専門監からのコラムを掲載します。



「熱心な無理解者」または「熱血の空回り」

子どもとの関係性の大切さを話題にすることが多いのですが、今回は「熱心な無理解者」についてお話します。

これは、児童精神科医の佐々木正美氏が提唱した言葉です。育てたい思いが強すぎて、懸命に言い聞かせて、注意して、怒って、教えて、子どもを苦しめることがあります。特に、発達障害のある子どもの特性について、誤解、偏見、理解不足などの状態にもかかわらず、熱心と言われるくらいの積極的な指導や支援を繰り返してしまうことがあります。そうして、かえって子どもの状態を悪化させてしまう人のことを「熱心な無理解者」と呼ぶそうです。

「本人のため」「良かれと思って」の強い指導や関わり方、そんな熱心な指導・支援が、子どもに合っていないと、本人にとっては「苦行」のように感じられるかもしれません。誰も、例えば「みんながおいしいから、体にいいから」と、苦手な食べ物を無理強いされて困った経験があるでしょう。それが続いたら、つら過ぎます。



もちろん、子どものためを思って熱心なことはよいのですが、こうした「熱心な無理解者」である大人に囲まれてしまうと、子どもは、ただでさえ生きづらい世界の中で、さらに、周囲の大人が恐怖を与える存在でしかないかもしれません。

子どもの指導・支援にあたる大人は、自分本位の「こうあるべきだ」ととらわれ過ぎずに、自分の「熱血の空回り」に気付いたら、子どもが自分を味方だと感じられるように、自分のやり方を反省し、子どもの思いを感じて、子どもに寄り添って関わることを思い返しましょう。

令和3年度 第1回ミニセミナー「こみっと」

テーマ「特別支援学校への就学・進学等について」
今年度も幼・保・小・中学校・高等学校の先生方を対象にしたミニセミナーが始まりました。第1回目は、将来の姿を見据え、今取り組むべきことや、日々悩んでいること等について、たくさんの情報交換を行いました。

7月に入り本校でも学校見学や教育相談の連絡をいただくことが増えてきました。就学・進学に向けての準備については、早めに進めていくことが大切です。分からないことや困っていることがありましたら、お気軽にご相談ください。



障害理解授業 in 能代科学技術高等学校

能代科学技術高等学校 農業科3年「ボランティア基礎」の授業内で、障害理解授業を行いました。能代科学技術高等学校と本校中学部の交流を前に、「能代支援学校の紹介」「障害について考える、体験する」「障害のある人の働き方について」「交流活動に向けて」のテーマで障害について知り、考える機会となりました。今年度、地域支援部では障害理解授業を重点の一つに掲げ、取り組んでいます。みなさんの学校でも障害理解授業をやってみませんか？

<p>能代支援学校の紹介</p> <p>能代支援学校では、どんな学習をしている？</p> <p>能代支援学校で生活する力や働く力を身に付けるための学習をしています。</p>	<p>障害について考えてみよう</p> <p>知的障害のある人の仕事や働き方について</p> <p>砂時計は、何のために使っている？</p> <p>時間を読むことが苦手な人のために、砂時計を使って、ミキサーを混ぜる時間を測っている。</p>	<p>ポイントは「きこう」</p> <p>「あなたの ころや思いは 見えますか？ 聞こえますか？」</p> <p>ころは 見えない・聞こえないけれど ころづかいは見える・聞こえるのだ 思いは 見えない・聞こえないけれど 思いやりはだれにも見える・聞こえる</p> <p>見えない・聞こえない人には き（気づく） こ（声をかける） う（働く） から 始めてみませんか。</p>
---	---	--

「ちょこっと支援」

第2回 「Wordの読み上げ機能」



Wordの「読み上げ機能」をご存知でしょうか。Wordの「校閲」タブに「音声読み上げ」というアイコンがあります。これを使用すると、Wordで作成した文章を音声で読み上げてくれます。問題文や学習プリントの読みで苦勞している子どもへの支援や、聞いたことをメモに取る学習などにぜひご活用ください。

特別支援教育に関わる情報提供や相談等、お気軽にお問合せください。

教頭：仲山智 教育専門監：小笠原英紀 地域支援部主任：船山真生

TEL 0185-55-0691 FAX 0185-55-0681

ホームページ <https://noshiroshien.ed.jp>

E-mail noshiro-s@akita-pref.ed.jp